

〔續應仁後記八〕阿波御所義榮被任左馬頭事附三好松永取合事
高屋ノ城ヨリ馳向フ寄手ノ三好勢先ヅ總大將左京大夫義次相從フ輩○中攝津上郡下郡衆○
略

住吉郡

〔攝津志二〕住吉郡東至河州灘川丹北八上三郡界西至海濱南至泉州大島郡界北至東生西成二郡界

〔古事記上〕其底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命、三柱神者、墨江之三前大神也、

〔古事記傳六〕墨江之三前大神、墨江は津國の住吉をいへるなり、住吉を須美與志と唱るは後世須美能延とのみ云り、まづ此記には墨江とかき、書紀万葉には、住吉と書ても須美乃

延とよみ、又万葉に墨之江、清江、須美乃延など有て、須美與志と云ることは一もなし、

〔釋日本紀六〕住吉大神○中述義

攝津國風土記曰、所以稱住吉者、昔息長足比賣天皇世、住吉大神現出、而巡行天下、覓可住國、時到於沼名掠之長岡之前、前者今神宮南邊是其地、乃謂斯實可住之國、遂讚稱之、云眞住吉、住吉、住吉二字原國、乃是定神社、今俗略之、直稱須美乃叡、

〔續日本紀十八〕天平勝寶二年八月辛未、攝津國住吉郡人外從五位下依羅我孫忍麻呂等五人、賜依

羅宿禰姓、

〔法隆寺緣起資財帳〕合墾田地壹佰貳拾五町

攝津職住吉郡廿五町○中

天平寶字五年十月一日

寺主法師隣信○下

百濟郡

〔和漢三才圖會七十四〕西生郡攝津

按、昔百濟郡、有住吉郡之北、何時乎失其名、俗稱欠郡。木津、難波、勝間、今宮、西高津等是也、今屬西生郡、湯屋島、喜連、田邊、砂子、山内、寺岡、奧村、大豆塚、淺香、天王寺、阿倍野、新家、舍利寺、林寺、平野町、東高津等、百濟郡爲欠郡、今屬東生郡、但天王寺東門東有百濟寺舊地、